

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 健康と豊かさを増やす	3 誰一人取り残さない	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがい、経済成長を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくって責任をつかさどる	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
世界中とコミュニケーションを取る。ハード施設はつくるがそれだけでは足りない、ソフト対策という形で支えあいが重要であることを伝える。	●	●		●						●	●		●				
人にやさしくする					●	●	●			●	●		●	●	●		
モノレールの延伸事業に着手すること									●		●		●				
いろいろな立場の人を知る				●	●					●						●	
PR活動	●						●										●
人に親切にする。							●										
日々の点検・維持管理を怠らず、住み続けられるまちづくりを実現する			●			●		●		●							
業務にあたる際に、コスト意識をもって業務を遂行することで、良い事例を作れると考える。						●											
余った食料や物資の寄付、府民の方々の暮らしをより良くする業務を行うことで持続可能な大阪府を作っていきたい。その成果がいずれ世界にとっての力になれるよう尽力したい。	●	●		●	●				●		●		●	●			
既存施設を安全・安心に使い続けるため、現状を把握し、補修・補強・建て替えなどを行う。										●	●						
不法投棄やポイ捨ての社会的影響を知っておく。エアコンや電気を無駄遣いしないように努める。スーパーの回収機能を積極的に利用する。							●			●		●		●			
募金活動をする。											●	●	●				
暮らしの部分では、都市基盤の整備や暮らしにかかわる条例を出すことにより、今の大阪の現状よりも良い方向にもっていくことができるのではないかと考える。	●						●	●	●		●	●					●
地域清掃活動の参加						●				●	●		●	●	●	●	●
ゴミ拾い等のボランティア活動										●		●	●	●			

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 健康と豊かに暮らす	3 誰一人取り残さない	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と雇用は持続可能な発展をつくる	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくって責任を持って消費しよう	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
募金	●	●	●	●													
世界で今起きていることを知る。そのために、自分自身で様々な情報を調べようと思う。また、仕事の上では、SDGsの広報などを通して、関係各所に現実を知らせようと思う。また、業者に求めていくことも一定効果があると思う。	●	●								●		●	●	●	●		
不要なものを買わない。不要な電気の削減							●	●			●		●				
選挙に行く	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
相手の立場や文化を尊重し、思いやりをもって接する				●	●					●							
されて嫌なこと、嫌だったことは、他者にしない。			●						●	●						●	
健康、無駄なエネルギーのカット						●						●					
自治会やだんじりなどコミュニティに積極的に参加し若い世代にも引き継いでいける環境作りを形成する。										●	●	●				●	
ニュース等で情報収集する			●								●						
太陽光パネルを家の屋根だけに設置する条例をつくる。													●	●			
てまえどりと消費するタイミングをしっかり意識する										●							
身近な人が不幸にならないよう助け合い	●	●														●	
世界中の人々が平和に過ごせるようお祈りします。	●					●				●			●				●
異文化交流、道徳の勉強、食のロスを減らす、寄付		●										●	●	●			
これまでの下水処理能力の維持をしつつ、災害時の悪影響を限りなく0にする災害に強い大阪を目指して、日々の業務に邁進してまいります。										●							

私のSDGs宣言	関連するゴール																
	1 貧困をなくそう	2 健康と豊かに暮らす	3 健康と豊かに暮らす	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国が豊かになるまで	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくって消費する責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナーシップで目標を達成しよう
エアコンの設定温度を適正にする。食べ残しをしない。マイバッグを使う。	●											●	●				
相手を知り、意見を大切に、尊重する。プラスチックなどの環境を悪くするものの原因を見つけ、それを取り除く対策を考える。	●		●	●		●	●			●	●			●	●	●	
無駄なゴミを出さないようにし、環境に気を配ります。						●								●	●		
身近な人々の安定した生活を守り、健全な産業発展を促進するために、生活インフラの整備運営や都市開発の推進			●					●	●		●						
エコバックの使用やフードロスの削減。漫画などの書籍を電子で購入。	●	●					●			●							
分け隔てなく接し、助け合い協力する					●					●						●	
差別的な思考を意識して持たないようにする										●							
消費するエネルギーを減らす、支援のための募金やクラウドファンディング	●	●	●	●		●	●			●			●		●	●	
趣味や色々な事でストレスフリー				●													
住み続けられるまちづくりとして、犯罪が減る社会をつくれるまちづくり。コミュニティを創出する機会をつくる。										●							
必要な量を購入する												●					
ゴミの分別、食品ロスを減らす												●	●				
自分から謙虚で、傲慢にならないよう心掛ける。					●					●						●	
小学校などでの出前講義	●									●			●				
業務において常に安全性、公平性等の視点を持って、インフラ整備や維持管理に取り組む。更に府民目線を意識し、利用者にとって使いやすく安心できるインフラとは何かを考える。			●				●			●	●					●	●

私のSDGs宣言	関連するゴール																	
	1 貧困をなくそう	2 気候変動に具体的な対策を	3 健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を實現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくって責任をつかさどる	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正な社会を築こう	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	
ビニール袋の削減							●							●	●			
家の屋根に太陽光パネルをつける							●	●			●							
労働組合にはいる	●	●																
食べ残しや無駄な消費はしない、ニュースを見て情報を得る							●						●	●	●			
設備更新等の際により高効率の設備を導入する、また不要な設備を廃止したり集約化することで設備を減らし使用電力を減らすことを検討していく。							●											
公園や緑地等において自然環境の充実や緑の充足などに取り組む。			●				●				●		●		●			
他者を思いやりすぎない生き方をする	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
性別、人種、国籍にとらわれず、目の前に困っている人がいれば助ける	●		●		●													
移動手段に自動車ではなく電車を積極的に利用する							●				●		●		●			
公共施設インフラの安定	●		●			●				●	●				●	●		
業務に精一杯努める											●							
常に周りとのコミュニケーションをとる。	●	●	●	●	●													
自分と他人を知ること。そのためにまず「あいさつ」「地域への愛着」				●	●					●	●	●		●	●	●	●	●
日々の活動の際、極力階段を使う。必要のない電気はこまめに消灯する。							●						●	●	●			
将来への不安の解消には、まずは同世代の人たちとの気持ちの共有が大切だと考える。そのために、自分は気持ちを発信していくべきだと考える。			●			●					●	●						

